

ピース・イン・ツアーカンボジア支店 ★オークンツアー★

カンボジア 現地レター

< 聖山プノン・クーレン & 幻の巨大像スラードムライ探索特集 >

➤ カンボジア専門店だからこそ案内できる探索ツアー！

プノン・クーレン(ライチの木が多いことから<ライチの山(プノン・クーレン)>と呼ばれる)といえば、【大滝】、【涅槃仏】などが有名です。しかし、他にも人の入らない山奥には50を超す遺跡が眠っています。その中でも巨大彫像【スラードムライ(象像・獅子像・牛像など)】【ドムライクラップ(象像)】【ルーンプロチウ(洞窟寺)】は特にすばらしいです。先日、ガイドとツアーの下見(観光ツアー/サイクリングツアー)をしてきました。

山奥の移動についてはバイクを使用しますが、非常に見ごたえのある箇所がたくさんありました！！



バイク組とサイクリング組に分かれて出発！

ドムライクラップ/ルーンプロチウの崖の上/幻の巨像スラードムライ

今月の ホテル紹介

IKTT(伝統の森) (ゲストハウス)

故 森本さんが活動されたIKTT(クメール伝統織物研究所)の村の中にあるゲストハウスです。シェムリアップ州のピアックスナエンと呼ばれる地域にあり、市内からは車でおよそ1時間ほどに位置します。インテリアが素敵な木造の平屋家屋です。想像以上にオシャレな空間で、広間のテーブルや至る所に猫ちゃんがあります。電気の使用は22時まで。森の中、電気の明かりが無い一夜を過ごすのも楽しみのひとつです。

<https://skapit.exblog.jp/27919340/>



登頂入口までで、最近観光できるようになった「Poeng Ta Kho」です。崖からの風景は凄い！！の一言。今の時期は雨季の為、眼下には大自然が広がっています。

<https://orkuntour.exblog.jp/28490795/>

【NEWS】IKTTへの訪問スタディツアーを企画中！ < 自然と人間がおりなす最高のアート作品 >

昨今、SDGsが様々な活動で叫ばれておりますが、17年前の2002年からIKTT(クメール伝統織物研究所)では持続的な開発活動を実施しています。《内戦前のカンボジアの村には、手の届くところに染め織りの素材があり、村の外から何も持ち込まなくてもすばらしい織物が生み出せる自然と環境がありました。故 森本さんはそうした自然環境(=森)の再生と、その自然の恵みを上手に生かすカンボジアの人びとの「暮らし」と「知恵」の復活、そしてそれらすべてを統合した形で「伝統織物の復興」を進めました。》

本プログラムは、単純に織物の村への訪問ではなく、過去から現在、そして未来へと受け継ぐ「歴史」と「芸術」、「自然」「人間」「SDGs」等を複合的に学ぶツアーになります。

【8月の気候(参考)】

最高気温 * 約34℃ 最低気温 * 24℃

日出(8/1) * 05:49(AM) 日没(8/1) * 06:32(PM)

【8月の祝日】

祝日は無し

【8月の仏日(トゥガイ・セル)】

8月8日(木)、15日(木)、23日(金)、29日(木)

アンコールワットの第三回廊は、仏日は入場ができません